

第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
序章	2	前段の環境問題と後段の熊本地震の発生の内容のつながりが分かりづらい。	また、地球規模での温暖化や生物多様性の損失、大陸等からの汚染物質の流入など環境問題の深刻化や、甚大な被害をもたらした熊本地震の発生など、本市を取り巻く環境は厳しさを増しています。	また、地球規模での温暖化や生物多様性の損失、大陸等からの汚染物質の流入など環境問題の深刻化や、甚大な被害をもたらした熊本地震の発生など、本市を取り巻く 状況 環境は厳しさを増しています。
序章	2	全体の文章が長く分かりづらい。前段の市街地の拡大で一度フレーズを切ったらどうか。	都市づくりの分野では、これまで、人口増加や車社会の進展等を背景に、居住や、商業・医療などの都市機能の郊外立地が進み、市街地が拡大してきましたが、これにより都市の顔である中心市街地の疲弊や重要な食料の生産基盤である農地への無秩序な宅地化が全国規模で問題となっており、このように拡大した市街地のままで、人口が減少すれば、今まで身近に利用できた商業・医療・金融機能や公共交通等の日常生活に必要な機能が失われ、現在の暮らしやすさが損なわれてしまうことが懸念されています。	都市づくりの分野では、これまで、人口増加や車社会の進展等を背景に、居住や、商業・医療などの都市機能の郊外立地が進み、市街地が拡大してきました。 が、 これにより都市の顔である中心市街地の疲弊や重要な食料の生産基盤である農地への無秩序な宅地化が全国規模で問題となっており、このように拡大した市街地のままで、人口が減少すれば、今まで身近に利用できた商業・医療・金融機能や公共交通等の日常生活に必要な機能が失われ、現在の暮らしやすさが損なわれてしまうことが懸念されています。
第1章	11	九州全体のタテ軸方向の中心ではないか。	本市は九州の中央、熊本県の西北部にあります。平成23年3月に九州新幹線鹿児島ルートが全線開業し、博多～熊本間が約35分、熊本～鹿児島中央間が約45分となり時間距離においても、九州のちょうど中心になることとなります。	本市は九州の中央、熊本県の西北部にあります。平成23年3月に九州新幹線鹿児島ルートが全線開業し、博多～熊本間が約35分、熊本～鹿児島中央間が約45分となり、 九州新幹線鹿児島ルート の時間距離においても、 中間に位置する 九州のちょうど中心になることとなります。
第1章	15	「来街者の20%が学生」中高校含む？直前では大学生の話で混乱。	(1)九州の中心的役割を担う行政、教育機関の立地 本市は、古くから九州各地を結ぶ交通の結節点として栄え、戦前は国の出先機関が集積するなど九州の中核をなす拠点都市として発展してきました。現在でも、九州財務局や農政局をはじめとした国の機関や、熊本大学などの高等教育機関が数多く集まっています。人口に対しての大学生の定員比率が高く、特に中心市街地では、平日の来街者のうち約20%を学生が占めており、今後も、この特性を活かしたまちづくりが必要です。	(1)九州の中心的役割を担う行政、教育機関の立地 本市は、古くから九州各地を結ぶ交通の結節点として栄え、戦前は国の出先機関が集積するなど九州の中核をなす拠点都市として発展してきました。現在でも、九州財務局や農政局をはじめとした国の機関や、熊本大学などの高等教育機関が数多く集まっ ており、 います。人口に対しての大学生の定員比率が高く、特に中心市街地では、平日の来街者のうち約20%を学生が占めており、今後も、この特性を活かしたまちづくりが必要です。
第1章	16	フレーズの中に「近年」と「増加しています」が2度使用されている。言い回しを変えたがいいと思う。	(2)交流人口の増加 近年、特別史跡熊本城跡地等の歴史的文化遺産の活用に加え、観光ビザの条件緩和や円安、LCC航空便の就航などを背景に、国内のみならず海外からの観光客等が増加しています。特に近年は、経済成長が続く韓国、中国などの東アジアからの観光客が増加するとともに、留学生も増加しています。	(2)交流人口の増加 近年、特別史跡熊本城跡地等の歴史的文化遺産の活用に加え、観光ビザの条件緩和や円安、LCC航空便の就航などを背景に、国内のみならず海外からの観光客等が増加しています。特に近年は、経済成長が続く韓国、中国などの東アジアからの観光客 及び留学生は増加傾向にあります。 するとともに、留学生も増加しています。
第1章	16	広域的な視点を肉付けする必要がある。「九州圏広域地方計画」では、「リゾートアイランド九州」を謳っており、熊本はそのへそにあたる。	(2)交流人口の増加 このような中、平成31年(2019年)にはラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権をはじめとする、世界的なスポーツイベントの開催を控えており、本市は、多くの観光客が訪れ魅力ある都市として成熟していくための大変重要な時期を迎えています。	(2)交流人口の増加 このような中、平成31年(2019年)にはラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権をはじめとする、世界的なスポーツイベントの開催を控えており、本市は、多くの観光客が訪れ魅力ある都市 に として成熟していくための大変重要な時期を迎えて おり、 います。 成長著しいアジアと連携した日本の成長センター九州の中央で、各都市とつながる、広域交流拠点都市としての役割を果たしていくことが求められています。

第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
第1章	16	・新たには、観光の分野が必要 と思います。	(2) 交流人口の増加 このような中、交流人口を増加させるためにも、これらの施設を早期に復旧するとともに、復旧していく熊本城を国内外へ向けた新たな観光資源として活用するなど、積極的なシティセールスや観光戦略を展開していくことが必要です。	(2) 交流人口の増加 このような中、交流人口を増加させるためにも、これらの施設を早期に復旧するとともに、復旧していく熊本城を国内外へ向けた新たな観光資源として活用するなど、積極的なシティセールスや、 集客イベントによるにぎわいの創出、夏目漱石や西南戦争などの歴史・文化に基づく観光戦略 を展開していくことが必要です。
第1章	19	「連携中枢都市圏構想を活用し」?	(3) 市域を超えた広域的連携の強化 今後、連携中枢都市圏構想を活用し、熊本連携中枢都市圏の連携中枢都市として、積極的に近隣市町村と連携しながら、経済の成長や都市機能の強化、住民の生活利便性の向上を図ることで、近隣市町村全体の復興を牽引していくことが必要です。	(3) 市域を 越 えた広域的連携の強化 今後、連携中枢都市圏構想を 推進 活用し、熊本連携中枢都市圏の連携中枢都市として、積極的に近隣市町村と連携しながら、経済の成長や都市機能の強化、住民の生活利便性の向上を図ることで、近隣市町村全体の復興を牽引していくことが必要です。
第1章	21	文章が長く分かりづらい。3行目の全線開業したところで一度切ったがよいと思う。	(4) 九州新幹線など広域交通網の形成 昭和50年(1975年)の山陽新幹線博多駅開業から、平成16年(2004年)の新八代―鹿児島中央間の部分開業を経て、長年の悲願であった九州新幹線鹿児島ルートが平成23年(2011年)3月に全線開業し、現在、熊本駅周辺地区では、交通結節機能等の強化を目的とし、熊本の陸の玄関口にふさわしい、都市基盤の整備を進めるとともに、新たな商業機能の立地が見込まれています。	(4) 九州新幹線など広域交通網の形成 昭和50年(1975年)の山陽新幹線博多駅開業から、平成16年(2004年)の新八代―鹿児島中央間の部分開業を経て、長年の悲願であった九州新幹線鹿児島ルートが平成23年(2011年)3月に全線開業 しました 。 →現在、熊本駅周辺地区では、交通結節機能等の強化を目的とし、熊本の陸の玄関口にふさわしい、都市基盤の整備を進めるとともに、新たな商業機能の立地が見込まれています。
第1章	24	言いたいことを整理し短い文章で伝えてほしい。	(6) 車利用の増加と公共交通利用者の減少 人口増加や自家用車利用の普及、郊外部の地価の安さ等を背景に市街地は拡大を続け、これが更なる自動車交通の増加に拍車をかけるとともに、地球温暖化を進める一因にもなっています。また、これに伴い、公共交通利用者数は年々減少傾向にある中で、特にバス交通の利用者数はピーク時の約3割にまで減少し、公共交通事業者の経営悪化によるサービス水準の低下、これが更なる利用者数の減少を招くといった悪循環に陥っており、将来、公共交通の維持が困難となることが予想されます。このままでは、自動車を自由に利用できない高齢者等にとって、移動しにくく暮らしにくいまちになることが懸念されます。	(6) 自動車 利用の増加と公共交通利用者の減少 人口増加や自家用車利用の普及、郊外部の地価の安さ等を背景に 本市では、人口増加等を背景に 市街地は拡大を続け、これが更なる自動車 利用 交通の増加に拍車をかけるとともに、 交通渋滞が発生するとともに 、地球温暖化を進める一因にもなっています。 また、これに伴い、公共交通利用者数は年々減少 しており 、傾向にある中で、特にバス交通の利用者数はピーク時の約3割にまで減少 しています 。 、公共交通事業者の経営悪化によるサービス水準の低下、これが更なる利用者数の減少を招くといった悪循環に陥っており、 このままでは、将来、公共交通の維持が困難となることが予想されます。 このままでは、自動車を自由に利用できない高齢者等にとって、移動しにくく暮らしにくいまちになることが懸念されます。
第1章	30	「中心市街地の疲弊・都市活力の衰退」が適当と思われる。	(9) 市街地の拡大、都市機能の郊外化と中心市街地の衰退	(9) 市街地の拡大、都市機能の郊外化と中心市街地の 疲弊、都市活力の衰退
第1章	30	1行目の「人口増加や～」は、始まりが唐突に感じる。 熊本市では(本市では)などが必要と思う。	(9) 市街地の拡大、都市機能の郊外化と中心市街地の衰退 人口増加や自家用車利用の普及、郊外部の地価の安さ等を背景として、市街地は年々郊外へ拡大を続けており、大規模な病院や大学などが中心部から郊外への移転や、大型商業施設が広幅員道路沿いに立地するなど、都市機能の郊外化が進展してきました。	(9) 市街地の拡大、都市機能の郊外化と中心市街地の 疲弊、都市活力の衰退 本市では、人口増加や自家用車利用の普及、郊外部の地価の安さ等を背景として、市街地は年々郊外へ拡大を続けており、大規模な病院や大学などが中心部から郊外への移転や、大型商業施設が広幅員道路沿いに立地するなど、都市機能の郊外化が進展してきました。

第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
第1章	30	文章が長いので、言いたいことを整理する。	これにより、食糧の生産基盤である農地や緑地の減少、移動コストの増加と環境負荷の増大を招くとともに、さらには、このような拡大した市街地のままで、人口が減少すれば、今まで身近に利用できた商業・医療・金融機能や公共交通等の日常生活に必要な機能の維持が困難となり、特に、自動車による移動が困難な高齢者等にとって、移動しにくく暮らしにくいまちになることが懸念されます。	これらにより、食糧の生産基盤である農地や緑地の減少、さらには、移動コストの増加と環境負荷の増大を招きました。くとともに、 今後、さらには、このような拡大した市街地のままで、人口が減少すれば、今まで身近に利用できた商業・医療・金融機能や公共交通等の日常生活に必要な機能の維持が困難となり、特に、自動車による移動が困難な高齢者等にとって、移動しにくく暮らしにくいまちになることが懸念されます。
第1章	33	(10) 農水産業の振興 都市マスタープランの観点から、森林、河川、有明海等の自然を活かした熊本市の農業・水産業の位置づけを強調した書きぶりがほしい。	本市では、豊かな自然条件をいかした多様な農業と水産業が営まれており、なかでも全国屈指の園芸産地として、なすやすいか、みかんなどの農産物は首都圏をはじめ全国に出荷されています。また、畜産業では、酪農や肉用牛、養豚など多様な経営が営まれ、県下でも有数の畜産都市となっています。水産業では、有明海の広大な干潟漁場と沖合漁場において、のり養殖業や採貝業などが盛んに行われているとともに、江津湖周辺では清らかな地下水を利用した錦鯉や金魚などの観賞魚の養殖業が行われています。	本市は、阿蘇外輪山の西麓や白川中流域を中心とした田畑などに降り注いだ雨が豊かな地下水を育み、この地下水とともに市内を流れる3河川(坪井川・白川・緑川)等により大地は潤され、西方では金峰山系が連なり、その更に西側では広大な干潟と干満差を有する有明海に面している自然豊かな都市です。 このような豊富な地下水と多様な地形、気候にも恵まれ、豊かな自然条件をいかして、た多様な農業と水産業が営まれており、なかでも全国屈指の園芸産地として、なすやすいか、みかんなどの農産物がは首都圏をはじめ全国に出荷されています。また、畜産業では、酪農や肉用牛、養豚など多様な畜産業経営が営まれ、県下でも有数の産地畜産都市となっています。水産業では、有明海の広大な干潟漁場と沖合漁場において、のり養殖業や採貝業などが盛んに行われているとともに、江津湖周辺では清らかな地下水を利用した錦鯉や金魚などの観賞魚の養殖業が行われています。
第1章	33	カントリーエレベーター等については表現が詳細であり、他の項目とレベル感が異なっているので、再考したがよい。	(10) 農水産業の振興 さらに、熊本地震により、大きな被害を受けた農水産業施設や農地の早期復旧に取り組むとともに、担い手への農地集積、カントリーエレベーター等の共同利用施設の再編整備など、将来にわたる持続的な発展を見据えた取り組みが必要です。	(10) 農水産業の振興 さらに、熊本地震により、大きな被害を受けた農水産業施設や農地の早期復旧に取り組むとともに、担い手への農地集積や、カントリーエレベーター等の共同利用施設の再編整備など、将来にわたる持続的な発展を見据えた取り組みが必要です。
第1章	33	「また、消費者の食に対する～必要があります。」の記載は見え消しになっているが重要なので記載しておいたほうがよい。	(10) 農水産業の振興 また、本市の農水産業の強みである園芸農業を振興しつつ、特色ある産地の育成を支援するとともに、農漁業経営体の強化、生産基盤などの整備・保全、加えて、農と食の魅力を創造し、6次産業化・農商工連携の推進などによる農水産物の高付加価値とブランド化を進める必要があります。	(10) 農水産業の振興 また、本市の農水産業の強みである園芸農業を振興しつつ、特色ある産地の育成を支援するとともに、農漁業経営体の強化、生産基盤などの整備・保全、加えて、農と食の魅力を創造し、6次産業化・農商工連携の推進などによる農水産物の高付加価値とブランド化、並びに、農水産物の販路拡大及び消費者への安全・安心な食料の安定的な確保、ひいては、流通による環境負荷の軽減につながる地産地消の取り組みを進める必要があります。

**第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】**

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
第1章	36	・(11) 地域経済の再生と活性化 全体として、ボリューム不足と思います。 ・新たには、観光の分野が必要と思います。	(11) 地域経済の再生と活性化 本市では、卸・小売業、サービス産業、食品製造業やIT関連企業をはじめとした製造業が集積し、本市の経済を支えてきました。しかしながら近年、卸・小売業の販売額や、製造品出荷額は減少傾向にあります。また、経済のグローバル化の進展等により都市間競争が激しさを増す中、雇用情勢については改善傾向にあるものの、若い世代を中心に大都市圏への人口流出などが懸念されています。 このような中、熊本地震によって地域産業は甚大な被害を受け、一日も早い回復が求められており、今後の本市経済の再生と活性化に向けては、経済活動を支える雇用の維持・確保・人材育成に取り組むとともに、販路開拓や技術開発等の支援、さらには、企業誘致活動による産業集積の促進などが必要です。 また、これら産業物流の円滑化や効率化を図るためにも、幹線道路や広域交通網の整備が必要です。	(11) 地域経済の再生と活性化 本市では、卸・小売業、サービス産業や、食品製造業やIT関連企業をはじめとした製造業が集積し、本市の経済を支えてきました。しかしながら近年、卸・小売業の販売額や、製造品出荷額は減少傾向にあります。また、経済のグローバル化の進展等により都市間競争が激しさを増す中、雇用情勢については改善傾向にあるものの、若い世代を中心に大都市圏への人口流出などが懸念されています。 このような中、熊本地震により地域産業は甚大な被害を受け、一日も早い回復が求められており、今後の本市経済の再生と活性化に向けては、経済活動を支える雇用の維持・確保・人材育成に取り組むとともに、販路開拓や技術開発等の支援、さらには、企業誘致活動による産業集積の促進などが必要です。 また、復旧していく熊本城を国内外へ向けた新たな観光資源として活用するなど、積極的なシティセールスや観光戦略、並びに、桜町・花畑地区における市街地再開発事業等による中心市街地のにぎわいを創出する取り組みと連携した地域経済の再生と活性化を進めていく必要があります。 さらにまた、これら産業物流の円滑化や効率化を図るためにも、幹線道路や広域交通網の整備が必要です。
第2章	45	・広域的な視点を肉付けする必要がある。「九州圏広域地方計画」では、「リゾートアイランド九州」を謳っており、熊本はそのへそにあたる。 ・九州の中央と同時に巨大災害時の広域救援拠点となることを想定した広域幹線道整備に言及すべき ・今回の震災では、大分方面からの通路が分断されなかったことにより、運よくガソリン不足にはならなかった。このことや国家的課題である南海トラフ巨大地震等への対応などを踏まえ、九州横断自動車道延岡線の整備促進等のような広域的な視点を追記したほうがよい。	(1) 広域的な視点 本市は熊本城の城下町を起源とした都市の形成を背景に、行政施設・学術研究機関などが数多く立地する行政都市、文教都市として、また、産業においても豊かな自然条件を活かし、農業や水産業が盛んであることはもちろん、IT産業などの工業集積などにより、九州経済を牽引する役割を担ってきました。 さらに、陸・海・空の交通網の発達により、県内外や韓国、中国などの東アジアからの観光客が増加するとともに、留学生も増加するなど、安定した成長を遂げてきました。このような中、平成23年の九州新幹線鹿児島ルートの特急列車の全線開業により、広域のつながりが一段と強化されたところです。 そこで、九州中央に位置する地理的優位性やこれまで培った歴史・文化や都市集積という熊本の魅力を最大限に活かし、近隣市町村や九州各都市圏、さらには、日本全国、東アジアと連携した都市づくりを進める必要があります。	(1) 広域的な視点 本市は熊本城の城下町を起源とした都市の形成を背景に、行政施設・学術研究機関などが数多く立地する行政都市、文教都市として、また、産業においても豊かな自然条件を活かし、農業や水産業が盛んであることはもちろん、IT産業などの工業集積などにより、九州経済を牽引する役割を担ってきました。 さらに、陸・海・空の交通網の発達により、県内外や韓国、中国などの東アジアからの観光客が増加するとともに、留学生も増加するなど、安定した成長を遂げてきました。このような中、平成23年の九州新幹線鹿児島ルートの特急列車の全線開業により、広域のつながりが一段と強化されたところです。 そこで、九州中央に位置する地理的優位性やこれまで培った歴史・文化や都市集積という熊本の魅力を最大限に活かし、近隣市町村や九州各都市圏、さらには、日本全国、海外を意識し、東アジアと連携した九州中央の広域交流拠点都市として、広域観光周遊ルートの形成などによる観光需要の喚起や、消費の拡大を通じた地域経済等の活性化、大規模自然災害時の救援・救護、災害復旧等の迅速かつ的確な実施につながるような都市づくりを進める必要があります。

第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
第2章	48	中活との整合	◇ 中心市街地(熊本の顔)の活性化 熊本城や商業・業務機能が集積する通町筋・桜町周辺地区一帯から、城下町の風情が残る新町・古町地区や、熊本駅周辺地区を「熊本の顔」とし、この一帯で、都市機能の新たな集積や適正な配置、さらには、まちなか居住の促進や回遊性の向上を図ることにより、これまでの城下町としての基盤や魅力を活かしたにぎわいを創出します。	◇ 中心市街地(熊本の顔)の活性化 熊本の象徴である熊本城や多数の歴史・文化施設のある熊本城地区及び商業・業務機能が集積する通町筋・桜町周辺地区一帯から、城下町の風情が残る新町・古町地区や、熊本駅周辺地区を「熊本の顔」とし、この一帯で、都市機能の新たな集積や適正な配置、さらには、まちなか居住の促進や回遊性の向上を図ることにより、これまでの城下町としての基盤や魅力を活かしたにぎわいを創出します。
第2章	50	広域的な視点を肉付けする必要がある。	◇ 多様な交流を支える交通体系の確立 近隣市町村や九州各県主要都市との連携強化はもとより、日本各地や東アジア地域をはじめとした海外へも目を向けた観光・交流拠点都市として、広域交通網や都市内交通網の整備など、さらなる交通体系の確立を目指します。	◇ 多様な交流を支える交通体系の確立 近隣市町村や九州各県主要都市との連携強化はもとより、日本各地や東アジア地域をはじめとした海外へも目を向けた 九州中央の広域観光・交流拠点都市として、各都市間の観光及び経済などの交流や連携を支える 広域交通網や都市内交通網の整備など、さらなる交通体系の確立を目指します。
第2章	52	・本文中、「生物多様性の保全」は唐突な感じがします。 また、「生態系ネットワークの形成」は、「緑のネットワークの形成」という概念を使ったらどうか。 ・平成28年3月に熊本市生物多様性戦略～いきもん つながるくまもとCプラン～が策定されたところである。このことから、大きな視点として、今後の基盤づくりでも重要である自然環境について、もう少し記載したほうがよい。	◇ 自然環境の保全や生活空間におけるうるおいの創出 生物多様性を保全し、いきいきとした暮らしを将来にわたって実現するために、私たち市民一人ひとりが、熊本の豊かな地下水や緑を守りつつ、自然と共生する生活スタイルを創出し、良好な自然環境を未来へと引き継いでいきます。また、市街地内では、公園や民有地の緑の創出など、緑にあふれた、うるおい空間を創出するとともに、生態系ネットワークの形成を目指します。	◇ 自然環境の保全や生活空間におけるうるおいの創出 生物多様性を保全し、いきいきとした暮らしを将来にわたって実現するために、私たち市民一人ひとりが、熊本の豊かな地下水や緑を守りつつ、自然と共生する生活スタイルを創出し、良好な自然環境 と生物多様性 を未来へと引き継いでいきます。また、市街地内では、 生きものの生息・生育地となる公園や民有地の緑の創出など、緑にあふれた、うるおい空間を創出するとともに、多自然川づくりの推進など生物多様性に配慮した整備を推進するなど、水と緑の生態系ネットワークの形成を目指します。
第3章	65	・九州の中央と同時に巨大災害時の広域救援拠点となることを想定した広域幹線道整備に言及すべき ・今回の震災では、大分方面からの通路が分断されなかったことにより、運よくガソリン不足にはならなかった。このことや国家的課題である南海トラフ巨大地震等への対応などを踏まえ、九州横断自動車道延岡線の整備促進等のような広域的な視点を追記したほうがよい。	(2) 都市の骨格構成(交通軸) 幹線道路網は、九州中央の地理的優位性をさらに強化するため、広域交通拠点を連絡する道路網、及び九州縦貫自動車道と連絡する広域道路網、その他、国道や都市内道路網の円滑な連携をめざします。そのため、地域高規格道路などの、市域および近隣市町村の骨格となる2環状11放射道路網とそれらを連結する都市内道路網の形成を促進します。そのうえで、幹線道路に囲まれた地域の、日常生活に係る自動車と自転車や人とが共存する道路空間の形成を図ります。	(2) 都市の骨格構成(交通軸) 幹線道路網は、九州中央の地理的優位性 や、をさらに強化大規模自然災害時の救援・救護、災害復旧等の都市間連携を強化 するため、 高規格幹線道路 、広域交通拠点を連絡する道路網、及び九州縦貫自動車道と連絡する広域道路網、その他、国道や都市内道路網の円滑な連携をめざします。 そのため、 高規格幹線道路網並びに 地域高規格道路などの、市域および近隣市町村の骨格となる2環状11放射道路網 と、それらを連結する都市内道路網の形成を促進します。 そのうえで、幹線道路に囲まれた地域の、日常生活に係る自動車と自転車や人とが共存する道路空間の形成を図ります。

第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
第3章	67	・生物多様性に富んだ都市の適切な資料が必要と思う。	(3) 都市の骨格構成(水と緑の軸) 本市は、「森の都」と呼ばれ、上水道のすべてを地下水でまかなうなど水と緑に恵まれ、生物多様性に富んだ都市です。	(3) 都市の骨格構成(水と緑の軸) 本市は、「森の都」と呼ばれ、上水道のすべてを地下水でまかなうなど水と緑に恵まれ、生物多様性に富んだ都市です。
第3章	69	P73との書きぶりの調整	熊本城や市役所周辺から熊本駅に至る415haの中心市街地では、県内のみならず九州の中心都市にふさわしい行政、金融、情報通信および近隣市町村の発展を牽引する高次都市機能の維持・確保と新たな集積を目指します。	熊本城や市役所周辺から熊本駅に至る約415haの中心市街地では、県内のみならず九州の中心都市にふさわしい行政、金融、情報通信 及び教育文化 などおよび近隣市町村の発展を牽引する高次 な 都市機能の維持・確保と新たな集積を目指します。
第4章	73	「結ばれ」が2度使用されている。例えば「地域拠点と中心市街地を利便性の高い鉄軌道やバスなどの公共交通で結ぶとともに、地域拠点相互が～」のような文章が考えられる。	1 土地利用の方針 基本方針 そして、地域拠点と中心市街地は、利便性の高い鉄軌道やバスなどの公共交通で結ばれ、地域拠点相互も公共交通や幹線道路で結ばれ、地域生活圏が相互に連携した『多核連携型の都市構造』を目指します。	1 土地利用の方針 基本方針 そして、地域拠点と中心市街地は、利便性の高い鉄軌道やバスなどの公共交通で結ばれ、地域拠点相互も公共交通や幹線道路で つながる 結ばれ、地域生活圏が相互に連携した『多核連携型の都市構造』を目指します。
第4章	75	各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	(1) 拠点の形成 多核連携型の都市構造をめざし、高次都市機能の集積した中心市街地と地域の日常生活に必要な機能が集積した地域拠点・生活拠点の機能を高めます。そして、高齢社会においても市民が車に頼らず、身近な場所で買い物などが行えるような、暮らしやすい地域を形成します。	(1) 拠点の形成 多核連携型の都市構造をめざし、高次都市機能の集積した中心市街地と地域の日常生活に必要な 医療・商業等の都市 機能が集積した地域拠点・生活拠点の機能を高めます。そして、高齢社会においても市民が車に頼らず、身近な場所で買い物などが行えるような、暮らしやすい地域を形成します。 また、災害時であっても、これらの日常生活に必要な都市機能が維持される拠点整備に努めます。
第4章	76	新町・古町 震災復興 町屋再生利活用	a.中心市街地 さらに、新町・古町地区は、新旧の街並みが融合した趣のあるまちづくりを進めると共に、商業地として、地区内居住者や周辺の生活者の暮らしを支えます。	a.中心市街地 さらに、新町・古町地区は、 町屋などの伝統的様式を備えた建築物を修理・維持し 、新旧の街並みが融合した趣のあるまちづくりを進めると共に、商業地として、地区内居住者や周辺の生活者の暮らしを支えます。
第4章	76	・駅周辺 防災支援拠点 ・各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	a.中心市街地	a.中心市街地 ※以下を追記 なお、桜町・花畑地区及び熊本駅周辺地区は、災害時、多くの避難者や帰宅困難者、さらには、災害ボランティア等が集まることが見込まれる広域交通拠点であり、これらを支援する拠点としての機能強化を図ります。
第4章	76	・流通について通販の発達対応	b.流通業務ゾーン 流通の広域化に対応した流通業務機能の維持又は更新を図ります。	b.流通業務ゾーン インターネットを利用した各種通信販売サービスの需要拡大による宅配便取扱個数の増加 、流通の広域化に対応した流通業務機能の維持又は更新を図ります。
第4章	80	・幹線道路及び広域交通網の整備を図るとともに ・各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	2 都市交通体系の整備方針 基本方針 九州中央の広域交流拠点都市としての役割を担うための幹線道路や広域交通網の整備や、将来にわたりだれもが安心して移動できる交通体系を確立します。	2 都市交通体系の整備方針 基本方針 九州中央の広域交流拠点都市としての役割を担うための幹線道路や広域交通網の整備 を図るとともに や、将来にわたりだれもが安心して移動できる交通体系、 災害に強い交通ネットワーク を確立します。

第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
第4章	80	各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	(3) 公共交通機関の利便性の向上や利用促進を図るため、中心市街地と地域拠点間を結ぶ基幹公共軸の機能強化やバス路線網の再編、公共交通空白・不便地域等への対応を進めます。	(3) 公共交通機関の利便性の向上 及び や利用促進、 移動手段の多重化並びに災害対応力の向上 を図るため、中心市街地と地域拠点間を結ぶ基幹公共軸の機能強化やバス路線網の再編、公共交通空白・不便地域等への対応を進めます。
第4章	80	各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	2 都市交通体系の整備方針 基本方針 (6) 自然環境や都市景観などに配慮した道路整備を推進します。	2 都市交通体系の整備方針 基本方針 (6) 自然環境や都市景観、 防災・減災 などに配慮した道路整備を推進します。
第4章	81	・九州の中央と同時に巨大災害時の広域救援拠点となることを想定した広域幹線道整備に言及すべき ・今回の震災では、大分方面からの通路が分断されなかったことにより、運よくガソリン不足にはならなかった。このことや国家的課題である南海トラフ巨大地震等への対応などを踏まえ、九州横断自動車道延岡線の整備促進等のような広域的な視点を追記したほうがよい。	① 地域高規格道路※2等の広域交通網の整備を促進します。	① 高規格幹線道路※2 、地域高規格道路※ 32 等の広域 道路 交通網の整備を促進します。 ※2高規格幹線道路： 「高速自動車国道」および「一般国道の自動車専用道路」のことで、 九州縦貫自動車道、九州中央自動車道(九州横断自動車道延岡線)などを位置づけている
第4章	82	・CO2、NOx削減などの環境改善に効果のある放射環状道路の記述は説明不足 ・各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	(3) 骨格道路体系の整備方針 ① 渋滞を緩和するとともに、CO2、NOx削減などの環境改善に効果の高い、放射環状道路の整備を推進します。	(3) 骨格道路体系の整備方針 ① 市街地部を通過する交通を排除するバイパス機能と交通分散機能を持ち、交通混雑解消やそれに伴う渋滞を緩和するとともに、CO2、NOx削減などの都市環境の改善並びに災害時の交通機能の確保に効果の高い、放射環状道路の整備を推進します。
第4章	83	各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	(6) 自然環境や都市景観などに配慮した道路整備の方針	(6) 自然環境や都市景観、 防災・減災 などに配慮した道路整備の方針 ※以下を追記 ④道路法面の補強や橋梁の耐震化、道路の無電柱化等を促進します。
第4章	92	中活との整合	(4) 中心市街地や地域拠点における市街地整備の方針	(4) 中心市街地や地域拠点における市街地整備の方針 ※以下を追記 熊本城地区 熊本城を中心に県立美術館や熊本博物館などの文化施設や複数の都市公園があることから、多くの観光客が訪れ、市民の憩いの場としての利用促進を図ります。
第4章	92	その他の修正	北区役所周辺地区 旧植木町において中心市街地活性化基本計画の認定を受けた区域を中心に、商業、公共施設など都市機能の充実を図るとともに、土地区画整理事業を推進することにより良好な市街地形成を	北区役所周辺地区 旧植木町において中心市街地活性化基本計画の認定を受けた区域を中心に、商業、公共施設など都市機能の充実を図るとともに、土地区画整理事業を推進することにより良好な市街地形成を創出します。

第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
第4章	94	住宅施策に関連して、災害危険区域から安全な場所への住み替えについて記述をしたほうがよい。	(1) 安全で安心できる住まいづくり	(1) 安全で安心できる住まいづくり ※以下を追記 ⑧災害危険区域や土砂災害特別警戒区域等内の危険住宅の移転や土砂災害のおそれのある危険な箇所における住宅等に対する必要な対策や支援などを推進します。
第4章	95	「空き家化の予防に努めるとともに空き家の流通促進や除去に努める」とあるが、空き家化の予防と後段の記述はイコールでは？	(3) 地域性を活かした住まいづくり ③空き家化の予防に努めるとともに、空き家の流通促進や除却に加え、地域資源としての活用などを総合的に推進します。	(3) 地域性を活かした住まいづくり ③居住者がいる段階から、住宅の良質化や適正な維持管理などにより空き家化の予防に努めるとともに、空き家の流通促進や除却に加え、地域資源としての活用などを総合的に推進します。
第4章	96	町家の写真はどこ？		「川尻地区の町家」という写真タイトルを追記
第4章	97	生物多様性に富んだ都市の適切な資料が必要と思う。 「生物多様性に富んだ」という表現はそこまで言い切れるか疑問である。例えば、「盛んに行われている農水産業により、生物多様性が支えられた」等の表現はいかがか？	5 自然環境保全及び公園緑地等公共空地整備の方針 基本方針 本市は、清れつな地下水や「森の都」と呼ばれるほど豊かな緑などに恵まれ、生物多様性に富んだ都市です。そこで本市が誇る貴重な財産を後世に引き継ぐために、地下水の保全や「森の都」づくりを進めます。	5 自然環境保全及び公園緑地等公共空地整備の方針 基本方針 本市は、清れつな地下水や「森の都」と呼ばれるほど豊かな緑などに恵まれ、里地里山や田園地域、湧水地や干潟など多様な自然環境と、河川などを通じたこれらのつながりの中で、生物多様性の様々なめぐみを享受できる生物多様性に富んだ都市です。そこで本市が誇る貴重な財産を後世に引き継ぐために、地下水の保全や「森の都」づくりを進めます。
第4章	99	公園緑地の項 避難など救援拠点としての防災広場整備に言及	(6) 防災のための公共空地整備の方針 緑地等は、火災の延焼防止機能や市民の避難場所になる等、都市の防災機能を有しており、地域防災計画との連携により、適正な配置と整備を図ります。	(6) 防災のための公共空地整備の方針 公園緑地等は、火災の延焼防止機能や災害時の緊急(一時)避難所及び災害対応拠点となることから、誘導案内板の設置やトイレなどの設備の改良、食料等の物資の備蓄など、防災・減災機能を強化するとともに市民の避難場所になる等、都市の防災機能を有しており、地域防災計画との連携により、適正な配置と整備を図ります。
第4章	102	各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	③下水道管渠や浄化センターなどの既存施設を有効に活用するため、計画的な改築・更新を行いながら、施設の長寿命化を図ります。	③下水道管渠や浄化センターなどの既存施設を有効に活用するため、計画的な改築・更新を行いながら、施設の長寿命化及び耐震化を図ります。
第4章	102	各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	(3) その他の施設 健康で文化的な生活を実現するために欠くことのできないゴミ処理施設、教育文化施設や物流施設等の都市施設については、市街地の人口動態等に対応して、それぞれの施設の整備、配置誘導に努めるとともに、省エネルギー対策や新エネルギーの導入を促進します。	(3) その他の施設 健康で文化的な生活を実現するために欠くことのできないゴミ処理施設、教育文化施設や物流施設等の都市施設については、市街地の人口動態等に対応して、それぞれの施設の整備、配置誘導に努めるとともに、防災・減災機能の強化並びに省エネルギー対策及び新エネルギーの導入を促進します。
第4章	102	その他の修正	(1) 下水道の整備方針 ①下水道法に基づく基本計画区域の整備完了をめざし、未普及地区の下水道整備を進めます。	(1) 下水道の整備方針 ①下水道法に基づく基本計画区域下水道の全体計画区域の整備完了をめざし、未普及地区の下水道整備を進めます。

**第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】**

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
第4章	103	下水道は整備だけでなく管路の更新も必要では	(1) 下水道の整備方針 ⑤ 下水道管渠の計画的な改築・更新を行い、適正な維持管理に努めます。 ⑥ 浄化センター・ポンプ場の延命を図りながら、計画的な改築・更新を行い、適正な維持管理に努めます。	(1) 下水道の整備方針 ⑤ 下水道管渠や浄化センターなどの長寿命化を図りながら、下水道管渠の計画的な改築・更新を行い、効率的かつ安定的な適正な維持管理に努めます。 ⑥ 浄化センター・ポンプ場の延命を図りながら、計画的な改築・更新を行い、適正な維持管理に努めます。
第4章	104	各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	② 小中学校 児童生徒の良好な教育環境を確保するため、学校の適正な配置に努めます。	② 小中学校 児童生徒の良好な教育環境を確保するため、学校の適正な配置に努めます。 また、施設の耐震化・補強工事、食料等の物資の備蓄など、防災・減災機能を強化します。
第4章	104	各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	③ 上水道 安全でおいしい水道水を安定的に供給するために、水道施設の維持管理並びに整備に努めます。	③ 上水道 安全でおいしい水道水を安定的に供給するために、「安全」、「強靱」、「持続可能」な水道施設を目指し、 耐震化や機能強化及び適切な維持管理並びに整備に努めます。
第4章	104	各項においても都市防災の方針に記載している内容の頭出しとなるような記載を行ったほうがよい。	④ 教育文化施設、社会福祉施設等 住民福祉の向上及び暮らしの利便性増進のため、教育文化施設、社会福祉施設、医療施設を計画的に配置するよう誘導します。	④ 教育文化施設、社会福祉施設等 住民福祉の向上及び暮らしの利便性増進のため、教育文化施設、社会福祉施設、医療施設を計画的に配置するよう誘導します。 また、施設の耐震化・補強工事、食料等の物資の備蓄など、防災・減災機能を強化します。
第4章	104	公共施設整備について避難拠点としての記述も必要では	(3) その他の施設の整備方針	(3) その他の施設の整備方針 以下を追記 ⑥ 避難所 小中学校、教育文化施設、社会福祉施設など、災害時に避難所として機能する施設においては、停電時に電力を供給する太陽光発電設備等の導入、だれもが利用しやすいトイレや災害用マンホールトイレの整備、固定電話の設置など必要に応じた機能強化を行っていきます。

第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
第4章	113	・九州の中央と同時に巨大災害時の広域救援拠点となることを想定した広域幹線道整備に言及すべき ・今回の震災では、大分方面からの通路が分断されなかったことにより、運よくガソリン不足にはならなかった。このことや国家的課題である南海トラフ巨大地震等への対応などを踏まえ、九州横断自動車道延岡線の整備促進等のような広域的な視点を追記したほうがよい。	(1) 災害に強い都市基盤の形成 【都市施設の防災・減災対策】 ① 災害時の道路ネットワークを確保するため、環状道路をはじめとした幹線道路や高速道路機能を強化するスマートインターチェンジの早期整備を図るとともに、老朽化した道路施設の計画的な修繕、道路法面の補強や橋梁の耐震化を促進します。	(1) 災害に強い都市基盤の形成 【都市施設の防災・減災対策】 ① 災害時の道路ネットワークを確保するため、 高規格幹線道路の整備を推進し 、環状道路をはじめとした幹線道路や高速道路機能を強化するスマートインターチェンジの早期整備を図るとともに、老朽化した道路施設の計画的な修繕、道路法面の補強や橋梁の耐震化を促進します。
第4章	114	「電力・給水の多重化」というキーワードの記述が必要と思う。	(1) 災害に強い都市基盤の形成 【都市施設の防災・減災対策】 ⑦ 様々な機能が集積する中心市街地や広域交通拠点等の多くの人が集まる、桜町・花畑地区や陸の玄関口である熊本駅周辺地区の再整備にあたっては、施設の耐震性能の強化や給排水設備の多重化、食糧等の備蓄などを図るとともに、避難場所やボランティア活動、救護活動などの災害時活動拠点として機能するよう整備を図ります。また、このような応急・復旧活動等を効率的・効果的に進めるためには、官民連携し、エリア全体で、防災・減災機能の強化に取り組みます。	(1) 災害に強い都市基盤の形成 【都市施設の防災・減災対策】 ⑦ 様々な機能が集積する中心市街地や広域交通拠点等の多くの人が集まる、桜町・花畑地区や陸の玄関口である熊本駅周辺地区の再整備にあたっては、施設の耐震性能の強化や給排水設備 及び電力 の多重化、食糧等の備蓄などを図るとともに、避難場所やボランティア活動、救護活動などの災害時活動拠点として機能するよう整備を図ります。また、このような応急・復旧活動等を効率的・効果的に進めるためには、官民連携し、エリア全体で、防災・減災機能の強化に取り組みます。
第4章	114	・水の都である熊本らしい施策を展開することにより、まちの魅力向上、ひいては災害対応力向上に繋がると思う。 (施策例) 井戸設置箇所の位置図作成、オープンスペースに手押しポンプの設置等	(1) 災害に強い都市基盤の形成 【都市施設の防災・減災対策】 ⑤ 学校等、既設の公共施設は、施設の耐震化・補強工事の推進・非構造部材の耐震化の計画的な実施やトイレなどの設備の整備・改良、食料等の物資の備蓄など、災害時に備え機能強化を促進します。	(1) 災害に強い都市基盤の形成 【都市施設の防災・減災対策】 ⑤ 学校等、既設の公共施設は、施設の耐震化・補強工事の推進・非構造部材の耐震化の計画的な実施、 貯水機能付給水管 やトイレなどの設備の整備・改良、食料等の物資の備蓄など、災害時に備え機能強化を促進します。
第4章	116	・熊本地震により井戸水の重要性が増したことから、井戸水設置の推奨及びその補助等の仕組みづくりが必要。	(1) 災害に強い都市基盤の形成 【災害リスクの情報提供と活用】 ① これまで経験した熊本地震等の各種災害を踏まえ、地震、津波、液状化、土砂災害、洪水などの各種ハザードマップを見直すとともに、わかりやすく改善し、避難場所や避難経路の確認など災害への備えや、災害リスクを踏まえた居住地の選択が可能となるよう、積極的に市民へ周知を図り、災害に強いまちづくりを推進します。	(1) 災害に強い都市基盤の形成 【災害リスクの情報提供と活用】 ① これまで経験した熊本地震等の各種災害を踏まえ、地震、津波、液状化、土砂災害、洪水などの各種ハザードマップを見直すとともに、わかりやすく改善し、避難場所や避難経路、 井戸設置箇所 の確認など災害への備えや、災害リスクを踏まえた居住地の選択が可能となるよう、積極的に市民へ周知を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
第4章	117	物資やボランティアの「受援能力」が機能しなかったことを踏まえ、このキーワードを記載する必要がある。	(2) 災害時でも機能する拠点の整備 [災害対応に必要な拠点] ① 災害時に備え、避難場所や避難所、食糧・物資等の備蓄場所、さらには、ボランティア活動や支援物資集配などの災害時活動に必要な、施設やオープンスペースの確保とその活動内容に応じた適切な配置が必要です。 このような人流・物流にかかる各種災害時活動を支援するために、地域防災計画と連携を図り、道路・交通ネットワークの早期整備を図るとともに、公園やオープンスペース等の適切な配置と整備に取り組みます。	(2) 災害時でも機能する拠点の整備 [災害対応に必要な拠点] ① 災害時に備え、避難場所や避難所、食糧・物資等の備蓄場所、さらには、 応援機関の集結・活動拠点 、ボランティア活動や支援物資集配などの災害時活動に必要な、施設やオープンスペースの確保とその活動内容に応じた適切な配置が必要です。 このような人流・物流にかかる各種災害時活動を支援するために、地域防災計画 及び受援計画 と連携を図り、道路・交通ネットワークの早期整備を図るとともに、公園やオープンスペース等の適切な配置と整備に取り組みます。
第4章	118	・水の都である熊本らしい施策を展開することにより、まちの魅力向上、ひいては災害対応力向上に繋がると思う。 (施策例) 井戸設置箇所の位置図作成、オープンスペースに手押しポンプの設置等 ・熊本地震により井戸水の重要性が増したことから、井戸水設置の推奨及びその補助等の仕組みづくりが必要。	[市民の災害対応力の強化] ① 防災等に関する市民への啓発活動や防災訓練への参加呼びかけを行うとともに、ハザードマップの活用による避難経路・避難所等の確認を促します。	[市民の災害対応力の強化] ① 防災等に関する市民への啓発活動や防災訓練への参加呼びかけを行うとともに、ハザードマップの活用による避難経路・避難所、 井戸設置箇所 等の確認を促します。
第4章	118	地区防災計画の記述は重要。昼間は居住者だけでは防災機能が発揮できない恐れがあるため、事業所も含めた検討を行う必要がある。	[地域の災害対応力の強化] ① 地域住民が主体となり定める地域版ハザードマップの策定を支援していきます。自主防災クラブの役割や活動を明確にした上でその活動を支援していくとともに、消防団の体制等の充実や地域における実践的な防災訓練の実施など、校区自治協議会・町内自治会等における災害対応力強化に必要な支援を行っていきます。	[地域の災害対応力の強化] ① 地域住民が主体となり定める地域版ハザードマップ、 地域住民及び事業者が連携して定める地区防災計画 の策定を支援していきます。自主防災クラブの役割や活動を明確にした上でその活動を支援していくとともに、消防団の体制等の充実や地域における実践的な防災訓練の実施など、校区自治協議会・町内自治会等における災害対応力強化に必要な支援を行っていきます。
第4章	118	[地域の災害対応力の強化] ②の中で、企業等のみでなく、民家や民間施設の井戸水の確保と活用について検討してもらいたい。	[地域の災害対応力の強化] ②地域公民館や企業等においても災害時に備え、食料・水等の備蓄を促進するとともに、災害時に企業等の井戸やオープンスペースを市民が利用できるような仕組みづくりを、市民・事業者・行政が協働で進めていきます。	[地域の災害対応力の強化] ②地域公民館や企業等においても災害時に備え、食料・水等の備蓄を促進するとともに、災害時に 民間企業等 の井戸やオープンスペースを市民が利用できるような仕組みづくりを、市民・事業者・行政が協働で進めていきます。
第4章	118	「電力・給水の多重化」というキーワードの記述が必要と思う。	[行政の災害対応力の強化]	[行政の災害対応力の強化] ※以下を追記 ②小中学校、教育文化施設、社会福祉施設など、災害時に避難所として機能する施設においては、非常用電源及び通信手段の確保、災害時でも利用が可能なトイレの整備など必要に応じた機能強化を行っていきます。

**第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会資料
第1回の主なご意見とご意見を踏まえた修正(案)【詳細】**

ご意見			対応	
章	ページ	内容	原文(第1回策定委員会 たたき)	修正案
第4章	118	物資やボランティアの「受援能力」が機能しなかったことを踏まえ、このキーワードを記載する必要がある。	【行政の災害対応力の強化】 ② 災害時に備え消防機能の充実を図るとともに、避難場所や避難所、食糧・物資等の備蓄場所、さらには、広域支援部隊活動やボランティア活動、支援物資集配などの災害時活動の拠点となる、施設やオープンスペース、防災拠点施設等の確保を図ります。また、その活動内容や支援物資の受入れを考慮した適正・適切な配置や受入れ体制の強化を図ります。	【行政の災害対応力の強化】 ③② 災害時に備え消防機能の充実を図るとともに、避難場所や避難所、食糧・物資等の備蓄場所、さらには、広域支援部隊活動やボランティア活動、支援物資集配などの災害時活動の拠点となる、施設やオープンスペース、防災拠点施設等の確保を図ります。また、その活動内容や支援物資の受入れを考慮した適正・適切な配置や 受援 受入れ体制の強化を図ります。
第4章	119	震災後、耐震性貯水槽等の活用に手間取った(訓練不足)ことから、「日ごろの防災訓練」について記述したほうがよい。	【行政の災害対応力の強化】	【行政の災害対応力の強化】 ※以下を追記 ⑧防災に関する諸計画やマニュアルを常に点検するとともに、研修や訓練の充実など、災害時の体制強化を図ります。